

「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

<h2>1. 実施主体</h2>	
本事業を受託し、協議会の核となる自治体、もしくは経済団体等名	徳島県教育委員会
<h2>2. 現状及び課題</h2>	
地域内でのキャリア教育に関する現状	本県においては、平成25年3月に「徳島県教育振興計画(第2期)」を策定し、「新たな価値を創りだし、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現」に向けての最重要事項の1つに「キャリア教育の推進」を位置付けている。平成25年3月には学校におけるキャリア教育の現状を把握するために「キャリア教育に関するアンケート調査」を実施し、その結果から、学校におけるキャリア教育の推進に向けた組織体制が不十分で教職員のキャリア教育に対する理解が不十分であることがわかってきた。 本県においては、今後県全体として、発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を実施するとともに、学校と家庭・地域、産業界が連携して体験的な活動等を充実させていくことが求められている。
地域内でのキャリア教育に関する課題	本県でのキャリア教育に関する課題を明確にするために、平成25年3月に県下の小中学校・高等学校を対象にキャリア教育に関するアンケート調査を実施し、その結果と全国調査結果との比較検討、並びに「平成25年度全国学力・学習状況調査学校質問紙」等の調査結果から、次のような課題が明らかになった。 (1) 子供たちの働くことへの意欲は高いが、職業に対する理解が不十分である。 (2) 子供たちに将来の夢や目標に向かって努力する気持ちや、課題に対してたくましく対応しようとする意識が低い。 (3) 子供たちの地域や社会の出来事への関心や自己肯定感が低い。 (4) 学校におけるキャリア教育を推進するための組織体制が整っていない。 (5) 体験的な学習活動を実施するための受入先の確保が必要である。 (6) 本県における新規高等学校卒業就業者の卒業後3年以内の離職率は全国水準を上回っている。
<h2>3. 委託内容に対する取組</h2>	
(1) 学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営	
地域の推進体制(図などを用いて地域全体の体制が分かるように示すこと)	学校におけるキャリア教育を推進するために、県教育委員会が中心となり、平成25年9月に学校関係者・経済団体・有識者等23名の委員で組織する「徳島県キャリア教育推進協議会」を設置し、学校がキャリア教育を推進する上で指針となる「徳島県キャリア教育推進指針」の策定やキャリア教育支援の体制づくりについて協議・検討を行った。

	団体名	役割
協議会の構成	徳島県商工会議所連合会	企業側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
	徳島県商工会連合会	
	徳島県中小企業団体中央会	
	一般社団法人徳島経済同友会	
	徳島県経営者協会	
	徳島県信用保証協会	
	徳島県中小企業家同友会	
	公益財団法人とくしま産業振興機構	職能団体の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
	徳島県職業能力開発協会	
	徳島県技能士会連合会	
	徳島県商工労働部産業人材育成センター	労働行政関係者の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
	徳島労働局職業安定部	
	徳島県教育委員会学校政策課	徳島県教育委員会の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けて協議・助言を行う。
	市町村教育委員会教育長会	市町村教育委員会の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けて協議・助言を行う。
	鳴門教育大学	大学の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して専門的知見から助言を行う。
	徳島県国公立幼稚園長会	幼稚園側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における職場見学等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
	徳島県小学校長会	小学校側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
	徳島県中学校長会	中学校側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
	徳島県高等学校長協会	高等学校側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
	徳島県特別支援学校長会	特別支援学校側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
徳島県PTA連合会	小中学校保護者の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。	
徳島市・名東郡小学校・中学校PTA連合会		
徳島県高等学校PTA連合会	高等学校保護者の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」策定及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）等の円滑な実施に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。	

<p>目標</p>	<p>※地域における課題解決のために、協議会の目標を設定すること (1)「徳島県キャリア教育推進指針」を策定し、本県の児童生徒の実態や地域性を踏まえた幼・小・中・高・特別支援学校における系統的・体系的なキャリア教育の推進を図る。 (2) 体験的な学習を円滑に実施するための体制を構築し、幅広い他者との人間関係形成等のための場や機会を積極的に設け、多くの児童生徒が、体系的に体験的な学習に参加できるようにする。 (3) 企業・経済団体等と連携した教育活動支援を促進させることにより、児童生徒のキャリアを形成するとともに各学校でのキャリア教育を推進する。</p>
<p>方針</p>	<p>※目標達成に向けて、協議会の取組方針を設定すること (1)「徳島県キャリア教育推進指針」を策定し、本県学校における系統的・体系的なキャリア教育の推進に向けた方策を示すとともに、小・中・高・特別支援の各学校で、推進組織体制の構築及び全体計画等の作成を図る。 (2) 企業・経済団体等による「講演・出前授業」の情報や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」等の実施可能企業等と学校とのマッチングを促進するためのデータベースシステムを構築し、体験的な学習活動の充実を図る。 (3) 企業等での製品開発に関連する知識・技術と教科とを関連させたデジタルコンテンツ等を活用し、各学校での講演や出前授業での活用を図る。</p>
<p>事業の自立的かつ発展的な運営体制</p>	<p>本協議会は、県労働雇用課と連携して組織を構成しており、協議会の運営においては、県労働雇用課と連携して推進した。 また、事業の運営については、県教育委員会が中心となり、企業・経済団体等と連携し、各校における今後のキャリア教育の推進状況や、職場体験やインターンシップの実施状況などについて報告・検討・協議し、キャリア教育のさらなる推進に向けて協議を行っていくことになっている。</p>
<p>(2)学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進</p>	
<p>①支援を提案する支援提供者を開拓すること</p>	
<p>「徳島県キャリア教育推進協議会」に参加する経済団体は、県内の幅広い分野の企業が参加しており、支援提供者として、多くの企業からの支援を望むことができたとともに、学校における「講演・出前授業」の講師として支援をいただいた。 また参加団体等と学校の教育活動に対する支援について協議を行い、キャリア教育支援について各団体の会員各会社に依頼を行い、その上で、ICTを活用したデータベースの構築に向けての協力を依頼した。</p>	
<p>②支援に関する提案を学校に提示すること。</p>	
<p>学校での教育活動に対して、次のような社会人講師等の派遣による支援を行った。 【教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業】 児童生徒の教科学習に対する目的意識はあまり高くないことから、キャリア教育における教科等との連携の視点から、キャリア教育と教科等との関連を深めることを目的に企業等の社会人を講師に招き、企業での業務と教科学習の関連性について出前授業を実施することとした。本支援では、徳島県市町村職員互助会が配付している「サイエンスとくしま」を活用し、県内企業における業務内容と中学校での「理科」や「技術」の教科学習との関連について企業関係者に授業を行っていただき、教科学習の重要性について気づかせるとともに、本県企業への理解や働くことの重要性や意義についても理解させることとした。 今回は、次の企業に出前授業の実施を依頼し、県内中学校にすべてに募集案内を行い提案した。 (1) 体内のバランスを保つイオン飲料(大塚製薬株式会社) (2) 未来を照らす白色LED(日亜化学工業株式会社) (3) 完全制御型の植物工場(日清紡ホールディング株式会社) (4) 紙を超えた紙“機能紙”(阿波製紙株式会社) (5) スマート社会を支えるリチウムイオン電池(パナソニックグループ三洋電機株式会社) (6) 患者さんとともにたたかう抗ガン剤(大鵬薬品工業株式会社) 【学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業】 この支援については、協議会に参加している経済団体等と連携し協議を行い、キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に沿った次の5つの内容で県内の小・中・高・特別支援学校すべてに講演・出前授業募集の案内を行うことにより提案した。 (1) 向上心や夢を持たせる(自己理解・自己管理能力等の育成) (2) 仕事(会社)を知る(キャリアプランニング能力等の育成) (3) 仕事をする上で必要となること(課題対応能力等の育成) (4) 社会人として必要なこと(人間関係形成・社会形成能力等の育成) (5) 社会のしくみを知る(人間関係形成・社会形成能力等の育成) 【講演・出前授業等の教育支援活動のデータベース化及び内容の提供】 企業・経済団体等による社会人の講演・出前授業等の教育活動の内容を一覧で紹介するデータベースシステムを開発し、すべての学校が容易に講演・出前授業等の内容を検索・閲覧することが可能となることを平成26年4月から予定している。</p>	

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

今回、「教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業」については中学校10校、「学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業」については、小・中・高・特別支援学校22校で実施したが、この出前授業実施後に生徒及び教員にアンケート調査を実施し、それぞれの支援についてのニーズを把握した。

「教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業」においては、生徒アンケート調査より、出前授業を受けて、学校での教科(理科など)の学習が大切だと思った生徒が、80%を超しており、企業関係者から業務と教科学習の関連について講演していただくことが、生徒の教科学習に対する意欲に大きく影響することがわかった。今回の出前授業では、企業関係者にデジタルコンテンツを活用して出前授業を行っていただいております。今後は今回行った出前授業の内容をビデオ等にまとめ、次年度以降での実施に繋げていく予定である。

「学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業」については、実施希望が55校あり、そのニーズについて調査すると、小中高ともに多くの学校で「社会人として必要なこと」に関する内容の講演を希望しており、小学校においては、「向上心や夢を持つ」内容についても希望が多いことがわかった。

これらの調査結果を更に分析して、各学校及び企業関係者の方々に提示することにより、お互いのマッチングを図り、更なる支援に結びつけていく予定である。

(3)学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援の促進

①インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること。

本事業で設置した「徳島県キャリア教育推進協議会」には、県内の多くの経済団体等に参加いただいております。これらの経済団体の会員として県内の幅広い分野の企業が参加している。したがって、本協議会に参加している経済団体等を通じて、支援提供者として、多くの企業からの支援をいただくことができる体制となった。さらに、本協議会において、参加する経済団体等の会員企業に児童生徒の受入れにおける条件や問題点などについて意見をいただくとともに、受入れ可能企業の条件などをまとめてデータベース化を図ることができた。

②インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること。

学校において、体験的な活動を積極的に実施するためには多くの受入先が必要となるが、インターンシップ等の受入先を新しく開拓することはかなり難しい。本事業でインターンシップ等のマッチングに関するデータベースシステムを開発し、企業等からのインターンシップ等に関する情報(企業名、対象生徒、実施内容等)をデータベース化して、Webを通じて学校及び児童生徒に提供することにより、県内の多くの企業でのインターンシップ情報を一元的に提供することができ、学校においても受入先の選択の幅を大きく増やせることができる。

今後、このデータベースシステムを県庁及び徳島県立総合教育センターのホームページにリンクするとともに、ホームページのURLを「徳島県キャリア教育推進指針」や「概要版」にも示し、教職員等にも周知を図り、積極的な活用を促す予定である。

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

本事業により構築したインターンシップ等のマッチングに関するデータベースシステムは、平成26年4月から運用を開始する予定で、小・中・高・特別支援のすべての学校で、インターンシップ等に関する情報を閲覧することができるように、データベースの項目などについても、キャリア教育推進協議会において学校関係者及び経済団体関係者等により協議していただき決定している。

今後は更に利便性を高めるために、データベース利用における課題等を学校から聞き取り、解決した内容等をデータベースに反映させ、さらに利用しやすいデータベースシステムを目指す予定である。

(4)その他の取組

・LINEの活用

特に高校生に対して、キャリア教育の充実や進路選択の機会の拡充を図るため、様々な情報をスマートフォンを通じて平成25年5月から直接提供しており、本年度については40件以上の情報を配信した。

提供内容 企業経営者からのメッセージ、人事担当者からのアドバイス

県内4大学の学長からのメッセージ、就職試験受験者へのメッセージ、進学情報 等

・「徳島県キャリア教育推進指針」の策定及び推進

本県学校におけるキャリア教育を推進するために、本協議会において学校関係者・経済団体・有識者等の立場から多岐にわたる意見をいただき、本県におけるキャリア教育の目標や、学校におけるキャリア教育の推進方策等を示した指針を策定することにより、系統的・体系的なキャリア教育の推進を図る。

・外部支援者への意識啓発

キャリア教育は、学校だけが行うのではなく、地域、保護者も一体となって推進していくことが重要であることから、本会議に参加している経済団体等から加盟企業等に対して、本会議で策定する徳島県キャリア教育推進指針の内容について周知し、より一層の連携を図る。

4. 計画・スケジュール	
実施時期	実施内容
9月	「徳島県キャリア教育推進協議会」設置
10月	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第1回)
12月	徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第2回)
12月	「講演・出前授業」「職場見学・職場体験・就業体験」に関するデータベース構築開始
1月～3月	企業・経済団体等による「講演・出前授業」の実施(22校)
1月～3月	企業による「教科等に関連した出前授業」の実施(10校)
2月	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第3回)
3月	「徳島県キャリア教育推進指針」概要版」の策定
3月	「講演・出前授業」「職場見学・職場体験・就業体験」に関するデータベース完成

5. 協議会の成果と課題

<p>※計画段階で示していた検証方法等を踏まえ、客観的・具体的に記載すること。 ※成果を踏まえた今後の課題についてもあわせて記載すること。</p>	<p>成果</p> <p>(1)「徳島県キャリア教育推進協議会」での協議により、「徳島県キャリア教育推進指針」を策定することができ、本県における幼・小・中・高・特別支援学校における系統的・組織的なキャリア教育の推進に向けての指針を示すことができた。さらに、本指針には、キャリア教育の充実に向けての校内体制づくりを示し、RPDCAサイクルによる推進に向けて全体計画等の作成方法などを示し、県内のすべての学校でキャリア教育を実践していく土台を構築することができた。</p> <p>平成26年度は学校及び教職員に対して「徳島県キャリア教育推進指針」の内容について周知を図るとともに、本指針にしたがって、すべての学校で全体計画等を作成し、キャリア教育を実践していくようにする。</p> <p>(2) 本県企業の製品開発に関する技術と中学校の「理科」「技術」の学習内容との関連を紹介した徳島県市町村職員互助会が作成した副読本を活用し、企業関係者による「出前授業」を中学校10校において実施した。授業後の生徒アンケートにおいて、「本日の出前授業を受けて、学校での教科(理科など)の学習が大切だと思いませんか。」との質問においては80%を超える生徒が大切だと回答し、「本日の出前授業の内容は、将来の進路や職業を考える上で参考となりましたか。」との質問においても70%近くの生徒が参考になったと回答している。さらに、「本日の出前授業を受けて、学校での学習や生活に目標をもつことができましたか。」との質問においては65%の生徒が持つことができたと回答しており、多くの生徒が教科学習の重要性を認識し、将来に対する目標などをもつきっかけとなったことがわかった。</p> <p>今後、企業関係者による出前授業での説明の様子を、ビデオ等のデジタルコンテンツに編集・作成し、実施校以外での実施を積極的に図っていく予定である。そして、今後も関係企業の方々との連携を積極的に図り、更なる出前授業の実施に繋げていく予定である。</p> <p>(3) 講演・出前授業との教育支援活動に関する情報データベースの開発・利用において、学校における社会人等による講演・出前授業等の実施希望状況を把握する必要がある。本事業において、経済団体等と連携し協議を行い、キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に沿った5つの内容で県内の小・中・高・特別支援学校すべてに講演・出前授業募集の案内を行い、55校から実施希望があった。その希望結果から、小・中・高ともに「社会人として必要なこと」に関する講演を最も希望しており、小学校においては、同様に「向上心や夢を持つ」内容についても多く希望していることがわかった。これらから、小学校では夢を持つことができる講演、さらにすべての校種において、社会人として成長するときに必要なことを講演してもらうことを希望していることがわかった。さらに、企業・経済団体等と連携し、「講演・出前授業」を小・中・高・特別支援学校22校において実施したが、実施後の児童生徒アンケートより、「将来の進路や職業を考える上で参考となった」と回答している児童生徒が多くみられ、学校の教育活動に社会人講師が参画することに効果があったことがわかった。今後はこれらの内容を踏まえて、「講演・出前授業」等に関するデータベースの利用を図っていきたいと考えている。</p> <p>(4) 「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」等に関する情報を一元的に管理し、インターネット上に公開できるデータベースシステムを構築し、平成26年4月からの運用開始を予定しており、このシステムにより、学校や児童生徒が直接「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」等に関する情報を検索して閲覧することができるようになる。このことにより、体験的な学習活動を受け入れる企業と学校との円滑な接続が可能となることが期待され、体験的な学習活動に参加する児童・生徒数の増加が期待される。</p> <p>課題</p> <p>(1) 「働くことの意義」や「学校での勉強がなぜ大切か」等の内容で課題としては、「講演・出前授業」の内容についての難しさを感じている児童生徒もみられたことから、今後は児童生徒の実態に合った内容の検討を事前に行うことが課題である。</p>
---	--